

平成 23 年 5 月 21 (土) 活動報告 報告者：山下

<活動内容>

8:30～ ミーティング

9:30～11:30 花輪田地区在宅生活者ニーズ調査（みささぎ会：木島さんと同行）

12:00～13:00 休憩

13:30～16:30 花輪田地区在宅生活者ニーズ調査（みささぎ会：木島さんと同行）

17:00～17:30 ミーティング（本日の活動報告、明日の予定）

<印象に残った事・感想>

引き続き今日も花輪田地区在宅生活者のお宅を訪問し、ニーズ調査（63 件の内 40 件の調査に関わる）を実施。花輪田地区の調査は終了。

花輪田地区のほとんどの自宅は津波による被害を受けている。自宅に入った泥出しや下水のつまり、畳の廃棄や消毒などボランティア依頼のニーズが非常に多かった。

連日たくさんの方のボランティアが活動している。平日では 200 人～300 人ぐらい、週末になると 400 人超が大槌町にいろんな所からボランティアが集まる。

重機など使用しなければならない時は大槌町の地域設備課や他府県の行政の土木課などの専門のスタッフが派遣されている。しかし在宅でのニーズ調査で掘り起こされたボランティアのニーズを役場へ届けても、ニーズが多すぎて迅速に対応できていないのが現状である。

また他の市町村のボランティア団体が、ボランティアに関する窓口である大槌町の災害ボランティアセンターを通さず、勝手に依頼を受けて活動していることもあり混乱が見られる事があった。

明日からニーズ調査を行う吉里吉里地区に大槌町で 1 番目の仮設住宅ができ、入居者も決まった。物資やボランティアの協力など今後減少する中で、仮設住宅など住居を確保し、これまでの避難所や在宅でのニーズとは異なる自立していく為の支援（介護保険や生活保護など社会保障制度の活用、就労の支援・相談、医療機関への受診など）がより必要になってくると思われる。

仮設住宅におられる方のニーズ把握をスムーズに行う為に、現在行っている在宅生活者のニーズ把握のスピードを上げる必要があり、その為にはある程度の調査する人員が必要であると思われる。

<明日の予定>

- ・吉里吉里（きりきり）地区在宅生活者ニーズ把握。





